

**CYBERNET**

証券コード4312

# サイバネットシステム株式会社

2022年12月期第2四半期決算補足資料

2022年8月3日



1

2022年12月期第2四半期決算説明

2

2022年12月期予想

3

中期経営計画の進捗状況

4

参考資料

# 外部環境認識と当社上期業績への影響

## 外部環境認識

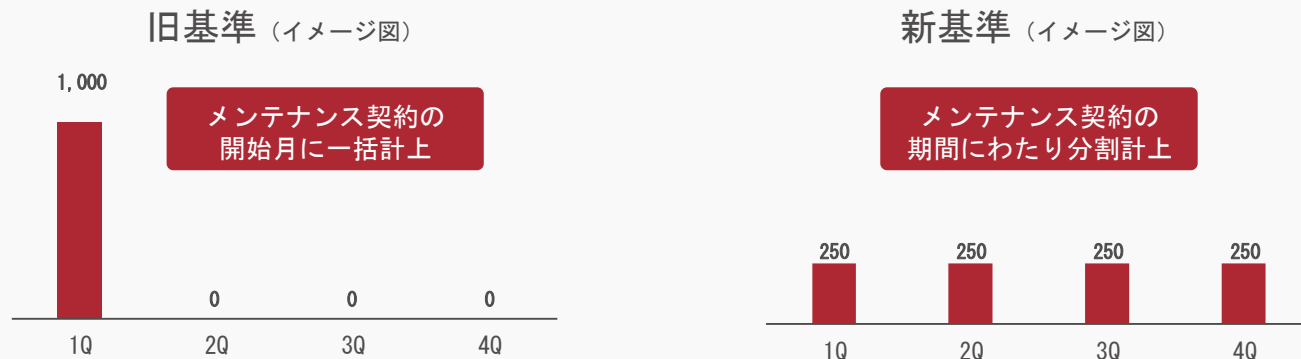
- ロシア・ウクライナ情勢に伴う資源価格の高騰やエネルギー不足等
- サプライチェーンの混乱等に伴う半導体等の部品や素材不足
- 全世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延は、経済活動の正常化に向けた取り組みが進みつつあるものの、中国におけるロックダウン等一部地域の経済活動に影響
- 日米金利差拡大等による円安進行

## 当社上期業績への影響

- ロシア・ウクライナ、EUのビジネスは限定的であり、業績への影響は限定的
- サプライチェーンの混乱等による影響でお客様の予算執行が先送りになるケースが見受けられるが、当社が取り扱う商材は、主に研究開発で用いられるソフトウェアであるため、業績への影響は限定的
- 中国におけるロックダウンの影響で、中国で受注の延伸が一部発生。ニューノーマルな働き方の定着・浸透が追い風となり、クラウド環境向けセキュリティソリューションの販売が好調に推移
- 為替変動による営業利益への影響は限定的

# 「収益認識に関する会計基準」等の適用について

- 第1四半期連結会計期間の期首から、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用。
- これにより、代理店事業のソフトウェアのメンテナンスサービス（新規契約のうちの一部、及び、更新契約の全額）については、従来、主として契約開始時点で収益を認識していましたが、契約期間にわたり収益を認識する処理に変更。
- 収益認識会計基準等の経過措置を適用し、過年度の遡及修正は行っていないため、本資料における財務数値の前期比および前期差は参考値（一部、個別の売上高は遡及修正した数値を開示）。



# 2022年12月期第2四半期の業績

単位：百万円

- 売上高は、Synopsys社との販売代理店契約終了の影響により前期比減収となったものの、主力製品であるマルチフィジックス解析ツールが堅調に推移したことなどにより計画比+1.4%。
- 営業利益は、売上高の減少の影響により減益。

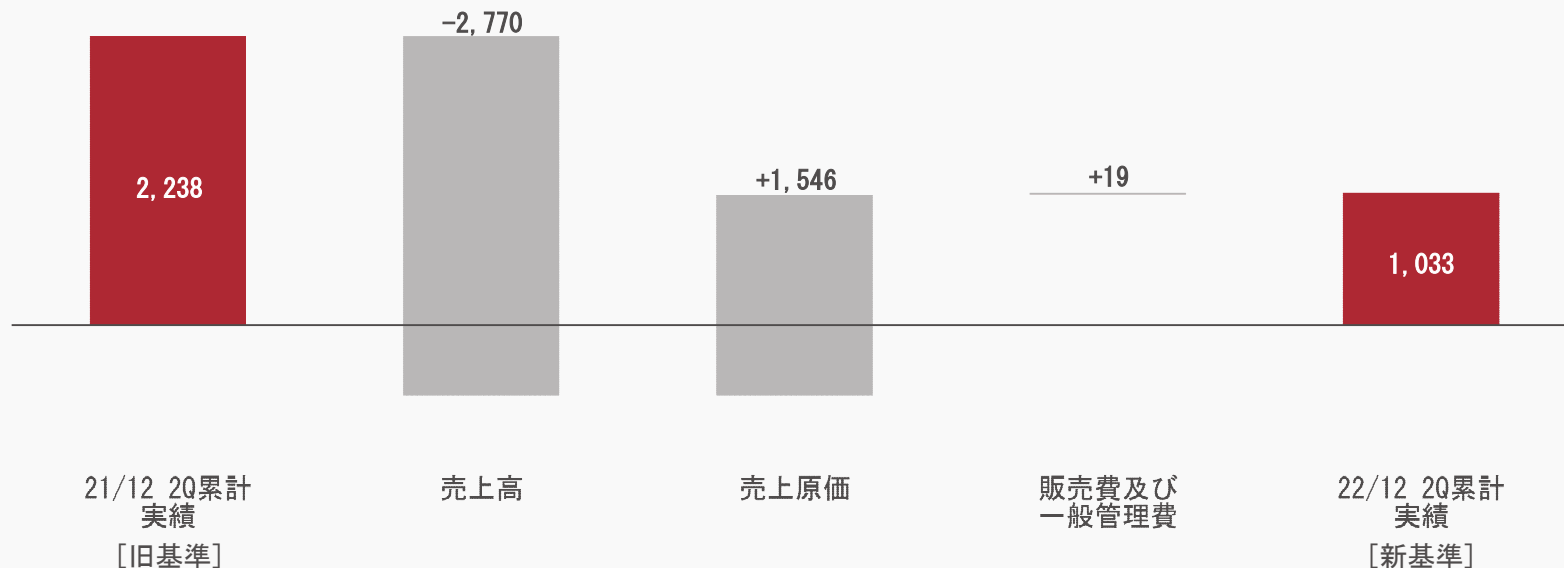
	21/12期 2Q累計 [旧基準]	22/12期 2Q累計 [新基準]	前期比	22/12期 2Q累計計画 [新基準]	計画比
売上高	12,507	9,736	-22.2%	9,600	+1.4%
売上総利益	5,253	4,029	-23.3%	-	-
販売費および 一般管理費	3,015	2,995	-0.6%	-	-
営業利益	2,238	1,033	-53.8%	850	+21.6%
(営業利益率)	17.9%	10.6%	-	8.9%	-
経常利益	2,227	979	-56.0%	850	+15.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,426	573	-59.8%	550	+4.3%
EBITDA	2,360	1,153	-51.1%	1,000	+15.4%
(EBITDAマージン)	18.9%	11.8%	-	10.4%	-
EPS (円)	45.73	18.49	-59.6%	17.64	+4.8%

※ EBITDA: 営業利益 + 減価償却費

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

# 営業利益の増減要因（前期差）

- 売上高の減少に伴い売上原価は減少。販売費及び一般管理費は前期と同程度となり、減益。



※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期差は参考値。

単位：百万円

# 収益認識会計基準等の影響

- 売上高で619百万円減少、営業利益で294百万円減少の影響。

単位：百万円

	22/12期 2Q累計 [旧基準]	影響額			22/12期 2Q累計 [新基準]
		シミュレーション	IT	合計	
売上高	10,356	-488	-131	-619	9,736
売上原価	6,032	-217	-108	-325	5,707
売上総利益	4,323	-271	-22	-294	4,029
販売費および 一般管理費	2,995	-	-	-	2,995
営業利益	1,327	-271	-22	-294	1,033

651

- ※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業
- ※ IT：ITソリューションサービス事業

# セグメント別売上高・営業利益の状況

単位：百万円

## シミュレーションセグメント

- 主力製品の保守契約の更新やMBSEなどのエンジニアリングサービスは好調に推移するも、Synopsys社との販売代理店契約が終了した影響により減収減益。

## ITセグメント

- 次世代型エンドポイントセキュリティの販売やクラウド環境向けセキュリティソリューションの販売が好調に推移したこと等により増収。

	21/12期 2Q累計 [旧基準]	22/12期 2Q累計 [新基準]	前期比
売上高	12,507	9,736	-22.2%
シミュレーション	10,467	7,665	-26.8%
IT	2,039	2,070	+1.5%
調整額	-	-	-
営業利益	2,238	1,033	-53.8%
シミュレーション	2,710	1,410	-48.0%
IT	292	290	-0.6%
調整額	-764	-666	-

※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業

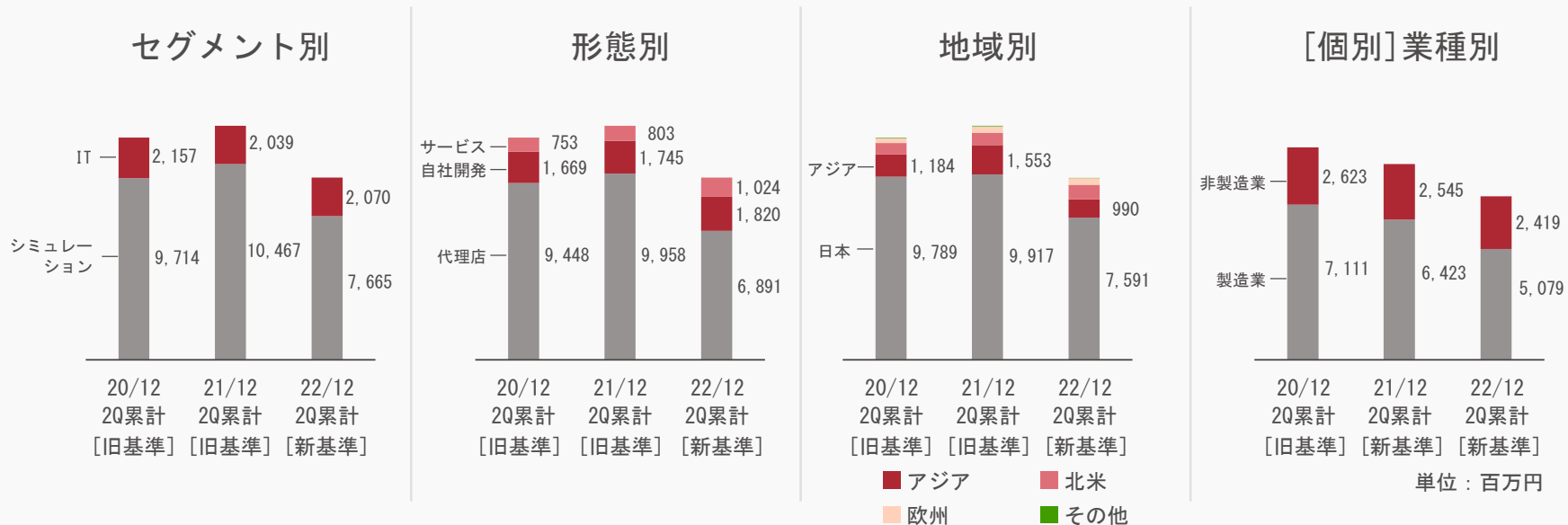
※ IT：ITソリューションサービス事業

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

※ 第1四半期から、報告セグメントの名称について、「CAEソリューションサービス事業」は「シミュレーションソリューションサービス事業」へ変更。また、セグメントの区分を変更し、前年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載。



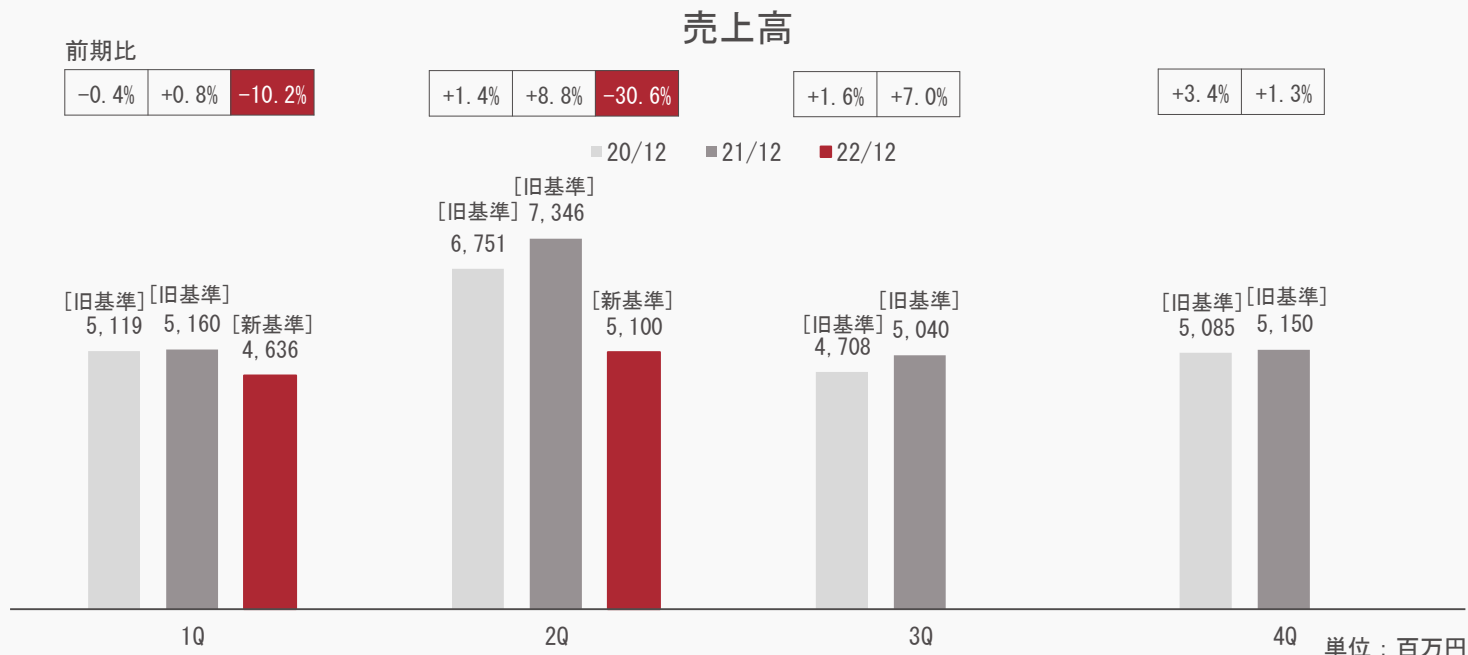
# 売上高構成の状況



※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡り修正は行っていないため、前期値および前々年同期値は旧基準。  
 ※ 第1四半期から、報告セグメントの名称について、「CAEソリューションサービス事業」は「シミュレーションソリューションサービス事業」へ変更。また、セグメントの区分を変更し、前年および前々年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載。

# 売上高の四半期推移

- 第2四半期は、Synopsys社との販売代理店契約終了の影響および収益認識会計基準等の適用などにより前期比-30.6%。



※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値、前期値および前々期値は旧基準。

# バランスシートの状況

- 金融資産は294百万円減少、純資産は829百万円減少、自己資本比率は61.6%。
- 親会社への貸付金（親会社のCMS（キャッシュ・マネジメント・システム））の回収により、短期貸付金は3,579百万円減少。
- 収益認識会計基準等の適用に伴い、株主資本に含まれる利益剰余金の期首残高が911百万円減少。

※ 金融資産：現金及び預金、有価証券、短期貸付金の合計

単位：百万円

	21/12末 [旧基準]	22/12 2Q末 [新基準]	前期末差
<b>流動資産</b>	21,526	21,959	+433
<b>金融資産(※)</b>	16,009	15,715	-294
現金及び預金	7,429	9,215	+1,785
有価証券	5,000	6,500	+1,500
短期貸付金	3,579	-	-3,579
固定資産	1,744	1,953	+209
<b>資産合計</b>	23,270	23,913	+643
<b>負債合計</b>	7,538	9,010	+1,472
流動負債	6,472	7,991	+1,519
固定負債	1,065	1,019	-46
<b>純資産合計</b>	15,732	14,902	-829
株主資本	15,287	14,244	-1,043
<b>負債純資産合計</b>	23,270	23,913	+643
自己資本比率	66.3%	61.6%	-4.8pt

# キャッシュ・フローの状況

## 営業活動によるCF

- 税金等調整前当期純利益の減少等により前期比マイナス。

## 投資活動によるCF

- 貸付金の回収による収入の増加により前期比プラス。

## 財務活動によるCF

- 自己株式の取得による支出の増加、配当金の増加により前期比マイナス。

単位：百万円

	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	前期差
営業キャッシュ・フロー	746	352	-394
投資キャッシュ・フロー	609	3,369	+2,760
財務キャッシュ・フロー	-468	-865	-397
現金・現金同等物の期末残高	11,396	15,609	+4,212

# セグメント別形態別売上高

単位：百万円

	21/12期 2Q		22/12期 2Q		前期比	21/12期 2Q累計		22/12期 2Q累計		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比		実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
売上高	7,346	100.0%	5,100	100.0%	-30.6%	12,507	100.0%	9,736	100.0%	-22.2%
シミュレーション	6,231	84.8%	4,012	78.7%	-35.6%	10,467	83.7%	7,665	78.7%	-26.8%
代理店	5,205	70.9%	2,832	55.5%	-45.6%	8,141	65.1%	5,089	52.3%	-37.5%
自社開発製品	773	10.5%	846	16.6%	+9.5%	1,583	12.7%	1,652	17.0%	+4.4%
サービス	252	3.4%	332	6.5%	+31.6%	743	5.9%	923	9.5%	+24.3%
IT	1,115	15.2%	1,088	21.3%	-2.4%	2,039	16.3%	2,070	21.3%	+1.5%
代理店	994	13.5%	955	18.7%	-3.9%	1,817	14.5%	1,802	18.5%	-0.8%
自社開発製品	82	1.1%	84	1.6%	+1.9%	162	1.3%	168	1.7%	+3.8%
サービス	38	0.5%	48	1.0%	+25.7%	60	0.5%	100	1.0%	+66.7%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

※ 第1四半期から、報告セグメントの名称について、「CAEソリューションサービス事業」は「シミュレーションソリューションサービス事業」へ変更。また、セグメントの区分を変更し、前年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載。

# 形態別売上高

単位：百万円

	21/12期 2Q		22/12期 2Q		前期比	21/12期 2Q累計		22/12期 2Q累計		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比		実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
代理店	6,199	84.4%	3,788	74.3%	-38.9%	9,958	79.6%	6,891	70.8%	-30.8%
自社開発製品	855	11.6%	930	18.3%	+8.8%	1,745	14.0%	1,820	18.7%	+4.3%
サービス	291	4.0%	381	7.5%	+30.8%	803	6.4%	1,024	10.5%	+27.5%
合計	7,346	100.0%	5,100	100.0%	-30.6%	12,507	100.0%	9,736	100.0%	-22.2%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

※ 一部販売形態を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。

# 地域別売上高

単位：百万円

	21/12期 2Q		22/12期 2Q		前期比	21/12期 2Q累計		22/12期 2Q累計		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比		実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
日本	6,058	82.5%	3,846	75.4%	-36.5%	9,917	79.3%	7,591	78.0%	-23.5%
アジア	745	10.1%	668	13.1%	-10.4%	1,553	12.4%	990	10.2%	-36.2%
北米	365	5.0%	393	7.7%	+7.8%	663	5.3%	771	7.9%	+16.2%
欧州	164	2.2%	178	3.5%	+8.3%	341	2.7%	355	3.6%	+4.0%
その他	12	0.2%	14	0.3%	+14.9%	31	0.2%	27	0.3%	-10.8%
合計	7,346	100.0%	5,100	100.0%	-30.6%	12,507	100.0%	9,736	100.0%	-22.2%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

# [個別]業種別売上高

単位：百万円

	21/12期 2Q		22/12期 2Q		前期比	21/12期 2Q累計		22/12期 2Q累計		前期比
	実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比		実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
電気機器	1,354	29.5%	893	23.5%	-34.1%	2,395	26.7%	1,667	22.2%	-30.4%
機械・精密機器	854	18.6%	626	16.5%	-26.6%	1,550	17.3%	1,117	14.9%	-27.9%
輸送用機器	522	11.4%	484	12.8%	-7.2%	1,078	12.0%	982	13.1%	-8.9%
その他製造業	632	13.8%	618	16.3%	-2.2%	1,399	15.6%	1,312	17.5%	-6.2%
教育・官公庁	300	6.5%	309	8.1%	+3.0%	628	7.0%	673	9.0%	+7.2%
情報・通信	231	5.0%	201	5.3%	-13.0%	492	5.5%	429	5.7%	-12.6%
その他	701	15.3%	661	17.4%	-5.7%	1,424	15.9%	1,315	17.5%	-7.7%
合計	4,596	100.0%	3,795	100.0%	-17.4%	8,969	100.0%	7,499	100.0%	-16.4%

※ 前年同期の実績は、収益認識会計基準で算出した、実績を比較するための参考情報。

※ 一部顧客業種を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。



# [個別] 契約形態別売上高

単位：百万円

	21/12期 2Q		22/12期 2Q		前期比	21/12期 2Q累計		22/12期 2Q累計		前期比
	実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比		実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
ライセンス形態	4,139	100.0%	3,321	100.0%	-19.8%	7,693	100.0%	6,263	100.0%	-18.6%
新規契約	1,249	30.2%	1,082	32.6%	-13.4%	2,286	29.7%	2,062	32.9%	-9.8%
更新契約	2,890	69.8%	2,239	67.4%	-22.5%	5,406	70.3%	4,200	67.1%	-22.3%
ライセンス形態以外	456		473		+3.8%	1,275		1,235		-3.1%
合計	4,596		3,795		-17.4%	8,969		7,499		-16.4%

※ 前年同期の実績は、収益認識会計基準で算出した、実績を比較するための参考情報。

1

2022年12月期第2四半期決算説明

2

2022年12月期予想

3

中期経営計画の進捗状況

4

参考資料

## 2022年12月期 業績予想

- Synopsys社との販売代理店契約が2021年10月1日を以って終了したことで、2022年12月期は減収減益を計画。
- 販売代理店事業は減収も、自社開発製品、モノづくりのお客様のDX支援の増収を見込む。

単位：百万円

	21/12期 実績 [旧基準]	22/12期 予想 [新基準]	前期比
売上高	22,697	20,000	-11.9%
営業利益	2,830	1,800	-36.4%
(営業利益率)	12.5%	9.0%	-
経常利益	2,822	1,800	-36.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,786	1,150	-35.6%
EBITDA	3,072	2,100	-32.7%
(EBITDAマージン)	13.5%	10.5%	-
EPS (円)	57.29	36.87	-35.6%
ROE	12.0%	7.4%	-

※ EBITDA：営業利益 + 減価償却費

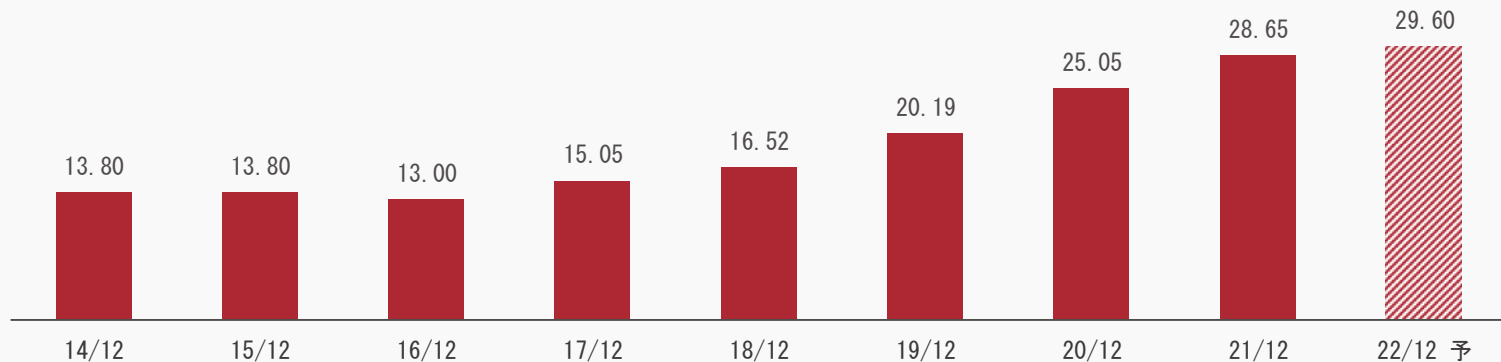
※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

# 2022年12月期 配当予想

■ 1株当たり29.60円の配当を予定。

株主還元に関する基本方針：株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題と位置付け、財務の健全性を維持しながら、資本効率を高める。配当は、当面の間、安定配当と継続的な増配を重要視し、「親会社株主に帰属する当期純利益」の範囲を原則として、純資産（自己資本）配当率（DOE）6.0%を配当金額の目安とする。

配当額



単位：円

1

2022年12月期第2四半期決算説明

2

2022年12月期予想

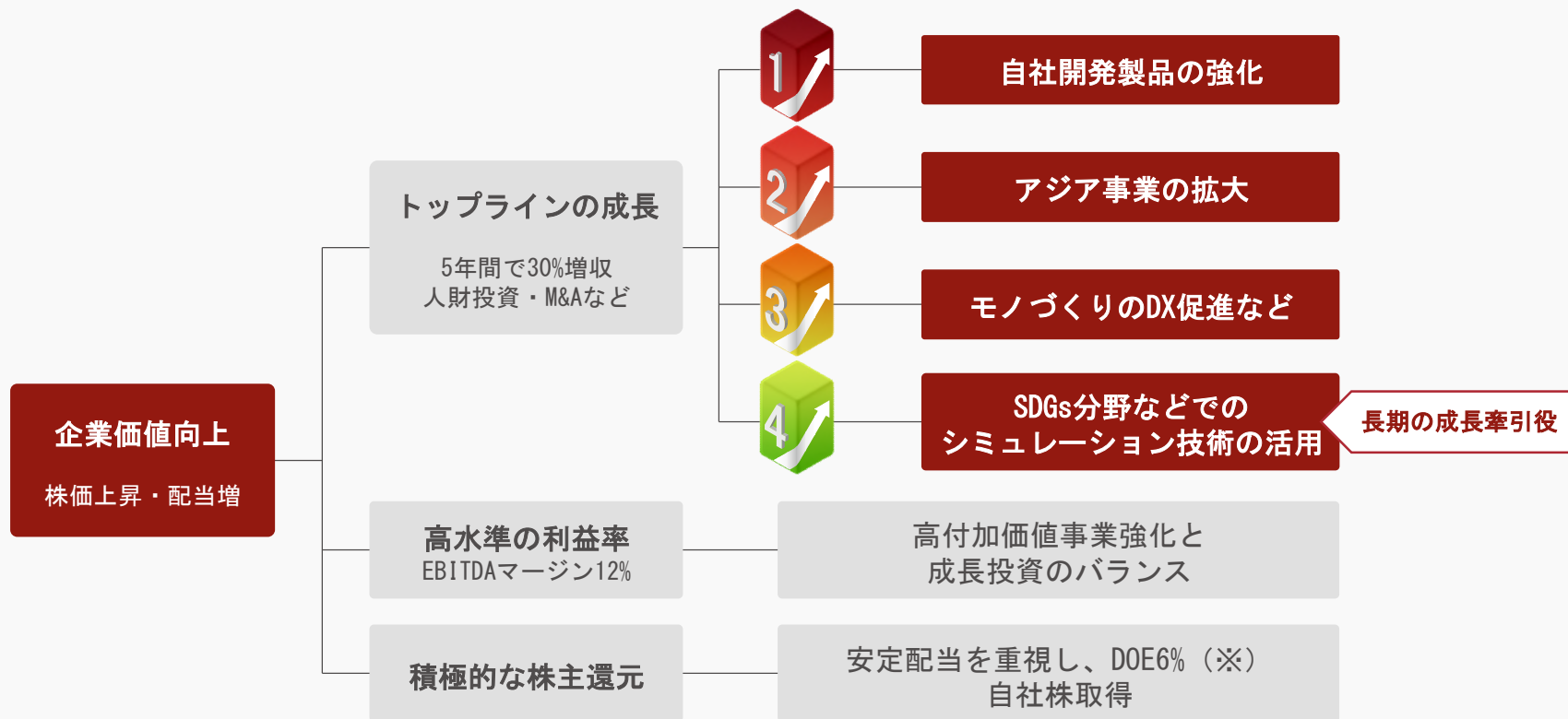
3

中期経営計画の進捗状況

4

参考資料

# 長期の企業価値向上の取り組み



※ 従来は、配当性向50%、D0E3%を指標に活用

# 2022年12月期上期における主要な取り組み 1/2

## 項目

## 2022年12月期上期における主要な取り組み

### 1. 自社開発製品の強化

- ビッグデータ可視化ツール「BIGDAT@Analysis」の販売開始  
膨大なIoTデータを可視化・分析し、生産設備や工場ラインの現状をすばやく把握し、予兆保全の効率化を可能とするソフトウェアの販売を開始。
- 3次元公差解析ツール「GETOL 6σ」の機能強化したバージョンの販売開始  
開発子会社であるSigmetrix社が開発・販売・サポートするGETOL 6σの機能を強化した最新バージョンの販売を開始。
- 自社開発製品の年間売上高計画進捗率は52.0%

### 2. アジア事業の拡大

- 中国・上海市において、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3月28日から6月1日の期間においてロックダウンが実施された影響はあるが、Ansys社製品の売上が好調。また、IoTサービスの提供を開始
- アジア事業の年間売上高計画進捗率は49.5%

# 2022年12月期上期における主要な取り組み 2/2

項目	2022年12月期上期における主要な取り組み
3. モノづくりのDX促進など	<ul style="list-style-type: none"><li>■ ベルトコンベアの突発的な停止を防ぐ予兆保全システムをワンストップで提供開始 IoTや機械学習による自動監視で工場・プラント設備の予兆保全を行うことができるシステムの導入コンサルティングからデータ分析までをワンストップで支援。</li><li>■ クラウド製品「OneLogin」の2021年国内販売代理店で売上No.1を達成 クラウドサービスを利用している企業向けにシングルサインオンを実現する「OneLogin」を開発、販売するOneLogin社からパートナー最高賞「Japan Partner of the Year」を受賞。</li></ul>
4. SDGs分野などでのシミュレーション技術の活用	<ul style="list-style-type: none"><li>■ AI技術を搭載した大腸内視鏡画像診断支援ソフトウェアEndoBRAINが薬機法の新制度の承認取得</li><li>■ 環境問題対策ソリューションの一つとして開発した新型コロナウイルスの飛沫計算シミュレーションを建設業界向けに提供</li></ul>



1

2022年12月期第2四半期決算説明

2

2022年12月期予想

3

中期経営計画の進捗状況

4

**参考資料**

# 会社概要

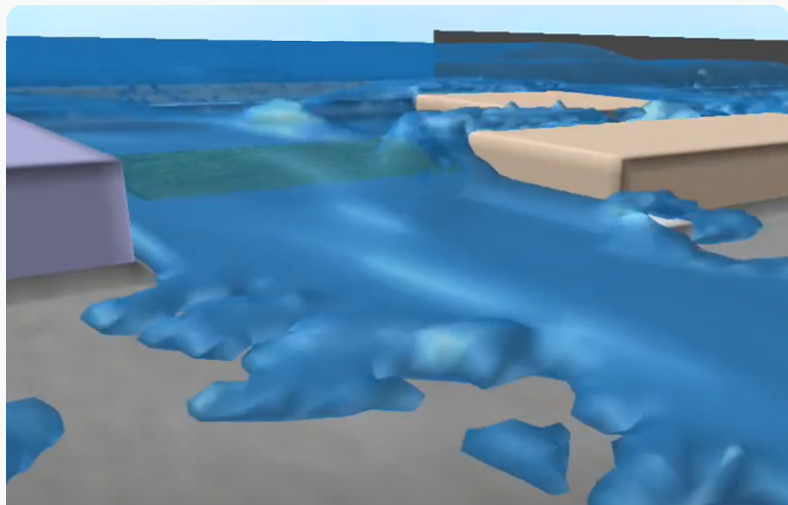
名称	サイバネットシステム株式会社（東証スタンダード市場 4312） Cybernet Systems Co., Ltd.
本社	東京都千代田区神田練堀町3番地 富士ソフトビル
拠点	西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
設立	1985年4月17日
資本金	995百万円
代表者	代表取締役 安江 令子
社員数	573名（連結）、350名（単体）（2021年12月31日現在）
事業内容	CAE、MBSE/MBD、プラットフォーム、IoT/XR、サイバーセキュリティ分野のソフトウェア、サービス（技術サポート、コンサルティング、導入支援セミナー、CAE総合教育等）等の提供
開発元提携先	Ansys社、Broadcom社など米国中心に35社以上
連結子会社	<p>【国内子会社】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>サイバネットMBS E株式会社</li></ul> <p>【開発子会社】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Sigmatix, LLC（米国）</li><li>Maplesoft（カナダ）</li><li>Noesis Solutions NV（ベルギー）</li></ul> <p>【販売子会社】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>莎益博工程系統開発（上海）有限公司（中国）</li><li>思渤科技股份有限公司（台湾）</li><li>CYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア）</li></ul>

# 当社はシミュレーションのリーディングカンパニーを目指します。

当社のシミュレーション技術は、**モノづくりの開発・設計工程**において、コンピュータ上で数値シミュレーションを行い、製品の性能や信頼を予測することで、**試作回数の削減、開発スピードの短縮、コストダウン、イノベーション**に貢献しています。**モノづくりに限らず**、サステナビリティ等の社会課題の解決においても、シミュレーション技術が不可欠であり、活躍の場を広げています。



様々な領域でシミュレーションが活用されています。



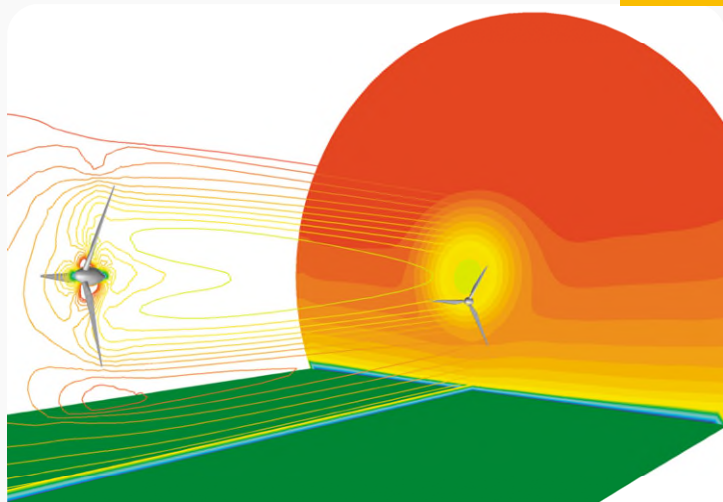
津波のシミュレーション結果を可視化し、  
災害の影響を再現



ドローンの振動およびブレード形状の最適な設計に貢献

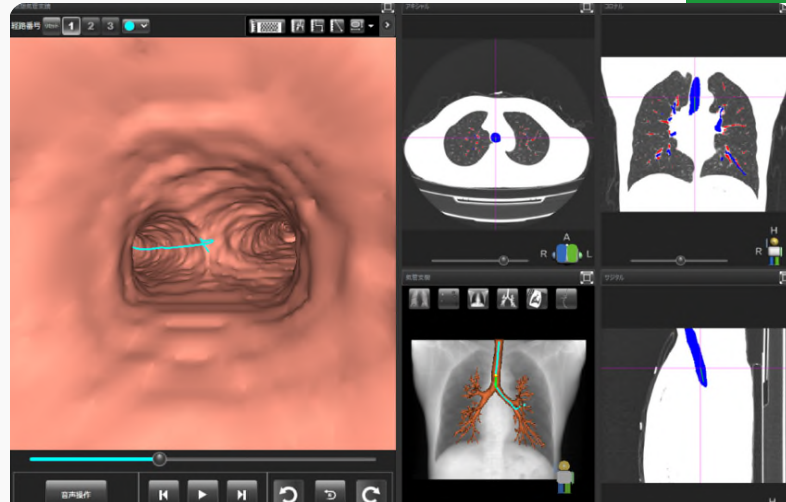
# シミュレーションはサステナビリティの実現には不可欠な技術です。

7 エネルギー効率を  
もってタービンに



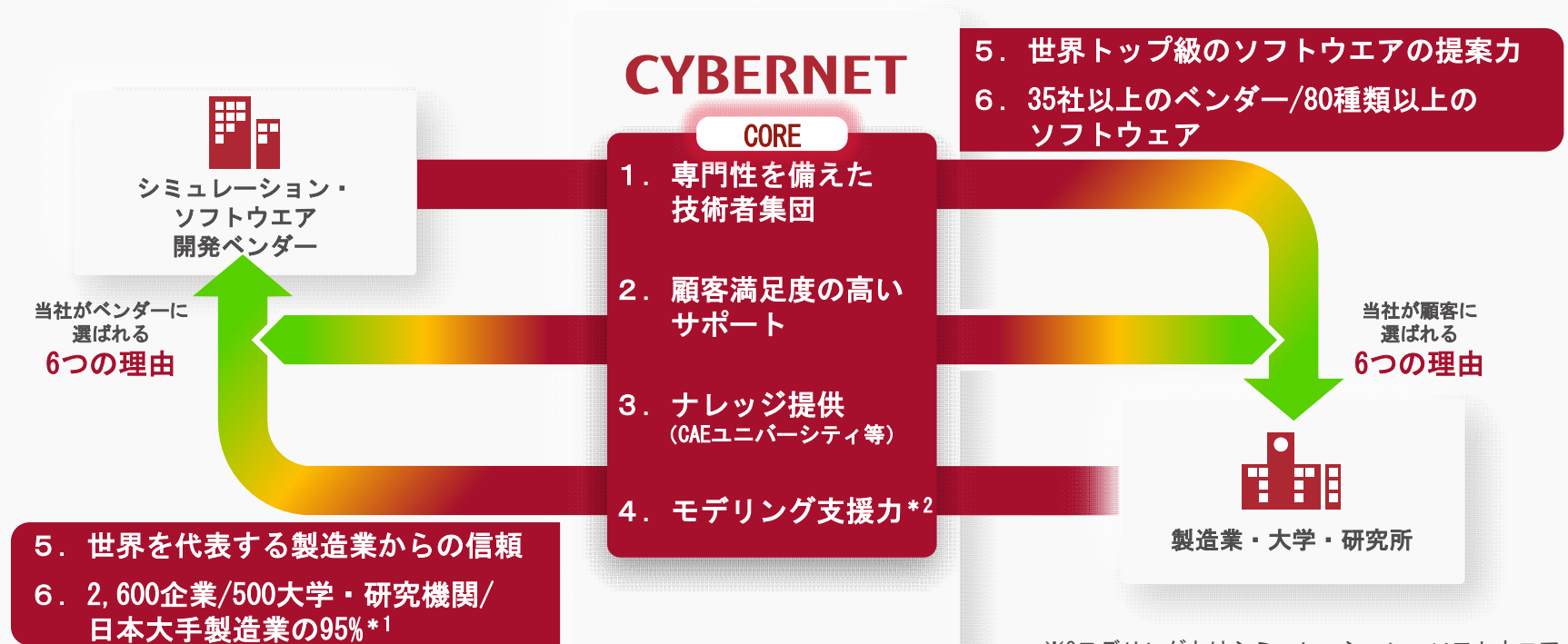
風力発電装置の発電効率、安全性向上に貢献

3 すべての人に  
健康と福祉を



内視鏡検査結果をリアルタイムに合成表示することで  
医師の診断を支援

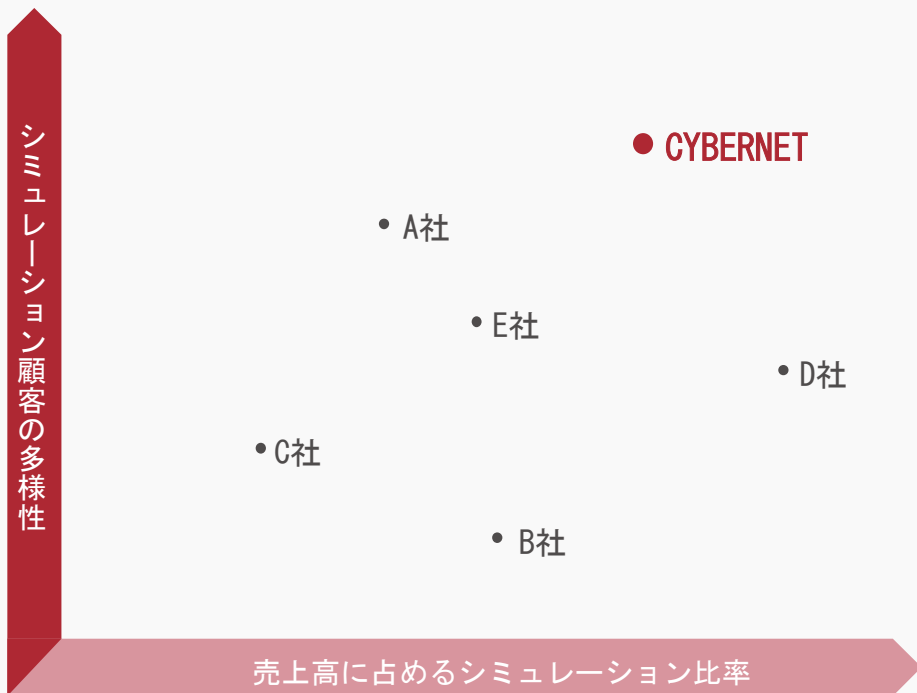
技術力、サポート力、ナレッジ提供力、モデリング支援力等が当社の競争力の源泉です。



※1食品・非製造業を除く上場企業の売上上位100社について過去3年の実績 (2021年3月現在)

※2モデリングとはシミュレーション・ソフトウェアを活用して、物理法則等にしたい物理現象等のシミュレーションモデルを構築、解析することです。経験豊富なエンジニアによる支援が不可欠です。

# シミュレーションへの専門度の高さ、広い顧客領域が当社の特長です。



※ 各社IR資料をもとに当社作成

## サイバネットシステムの特長

- 高い専門性技術を備え、幅広いシミュレーション領域をカバー。
- 約2,600企業&500大学・研究機関のユーザーに提供。
- これまではモノづくり向けにシミュレーションを提供してきたが、モノづくり以外の分野向けにも注力。

# 数字で見るサイバネット

## ① 豊富な実績 高い信頼

日本での  
実績 **36**年

米国スーパーコンピューター会社の東京拠点が原点。一貫して製造業の開発・設計シミュレーションを支援。

## ② シミュレーションの リーダー

機械系  
CAE市場 **国内1**位

日本市場での機械系CAEソフトウェア販売1位。

## ③ 技術に強い人財

エンジニア  
比率 **45%**

グループ社員の45%がエンジニア。  
コンピューター知識と工学知識、経験が強み。

## ④ 積極的なナレッジ提供 CAEユニバーシティ開催<sup>1</sup>

**116**回/年

他社にはない当社独自の取り組み。シミュレーションの実務者に質量ともに圧倒的な学びの場を提供。

## ⑤ 最強のCAE製品開発 ベンダーと良好な関係

当社が取扱う  
ANSYS社のCAE製品 **世界1**位

ANSYS社はCAE製品世界シェア35%のトップ企業。同社の最高レベルパートナーに7年連続で認定。

## ⑥ 強固な財務体質

ネット金融  
資産<sup>2</sup> **160**億円

強い財務体質により、成長投資と株主還元の両立が可能。

## ⑦ 安定かつ高い株主還元

DOE（自己資本配当率）

**6%** ← **3%**

DOEを6.0%に変更し、中長期の増配を目指す。  
(2022年12月期より変更)

※ 2021年12月31日現在

<sup>1</sup> 当社で開催しているCAEのセミナー。

<sup>2</sup> 現預金＋有価証券＋短貸付金－有利子負債



# ビジョン、ミッション

## VISION

### ビジョン

(将来のありたき姿 (存在意義))

技術とアイデアで、社会に  
サステナビリティとサプライズを。

## MISSION

### ミッション

(ビジョンに向けて、現在の事業を通じて果たす役割)

想像を超える、創造力で、  
課題のブレークスルーを導く。

## IR室

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地

TEL 03-5297-3066 FAX 03-5297-3609

### E-MAIL

irquery@cybernet.co.jp

### Webサイト

<https://www.cybernet.jp>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。  
本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したのですが、その安全性を保証するものではありません。  
また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。  
記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。  
投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。